

第 26 回地域バス交通活性化セミナー 大都市近郊における 乗合バス復権に向けて

日時：令和 5 年 8 月 9 日（水） 13:30～16:55（13:00 受付開始）

会場：尾張一宮駅前ビル（i-ビル） 7階 シビックホール
（愛知県一宮市栄 3 丁目 1 番 2 号）

主催：国土交通省中部運輸局、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援：一宮市、一宮市地域公共交通会議

定員：会場 150 名、オンライン 300 名（定員になり次第締め切ります）

入場：無料

【プログラム】

- 13:30 開会挨拶 中野 正康 一宮市長
中部運輸局
- 13:40 基調講演 「大都市近郊における乗合バスサービス見直しの必要性と方向性」
加藤 博和 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
- 14:30 講演 「姫路市での取組み（仮題）」
姫路市
神姫バス株式会社
- 15:10 休憩
- 15:30 パネルディスカッション
パネリスト：近藤 博之 名鉄バス株式会社 取締役運輸本部長
安藤 和人 名鉄西部交通株式会社 代表取締役社長
梅村 和行 スイトラベル株式会社 取締役社長
神姫バス株式会社
姫路市
コーディネーター：加藤 博和 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
- 16:50 閉会挨拶 門野 秀行 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 理事長
- 16:55 閉会

申込：オンラインでのお申し込みは、
<https://forms.gle/QfWZQWTLqNTso5pd9>
FAX でのお申し込みは裏面をご利用ください



【開催趣旨】

乗合バスは地域の移動を支える手段として重要な役割を担ってきました。自家用車を自由に利用できない学生や高齢者などはもとより、市民・来訪者にとって利便性の高い公共交通ネットワークの確保は、地域を持続可能とするための必要条件であり、その中で乗合バス網の果たす役割は重要です。しかし、過度なマイカー利用や少子高齢化進展により、乗合バス事業の経営状況は非常に厳しいものとなっています。以前は特に地方部において顕著な問題でしたが、近年では、新型コロナウイルスの影響による利用減少、それがもたらしたテレワーク増加などの社会構造変化により、大都市近郊においても顕在化し対策を講じる必要があります。

姫路市においては、令和3年7月に新たに総合交通計画を策定し、公共交通利用者数の増加はもちろんのこと、公共交通空白地・不便地域面積の減少など、「にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の交流連携を支える交通体系の構築」に関して、数値目標をたてて取り組んでいるところです。

そこで、現在利便性の高い公共交通ネットワーク形成に向けて地域公共交通計画改定を検討している一宮市において、姫路市での取組みを学ぶとともに、乗合バス復権のために必要となる利用促進やサービス改善の方策について議論を行います。

会場アクセス（尾張一宮駅前ビル（i-ビル） シビックホール）



【会場までのアクセス】

- ・ JR「尾張一宮」駅
- ・ 名古屋鉄道「名鉄一宮」駅 すぐ

※セミナーの趣旨から鉄道やバス等
でご来場下さい

参加申込書（地域バス交通活性化セミナー）

【宛先】 Fax：03-5844-6294 E-Mail：bus[at]ecomor.jp（※[at]を@に変換下さい）

事務局：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部（担当：岡本、岩原）

ご所属	（ふりがな） お名前	参加方法 （○をつけてください）	E-Mail
		・会場	
		・オンライン	
		・会場	
		・オンライン	
		・会場	
		・オンライン	

※ご記入いただきました個人情報は、当財団の「個人情報保護方針」(<http://www.ecomor.jp/support/privacy.html>)

に基づき、適切な管理を行い、本研修会開催にあたってのご連絡を行う場合にのみ使用させていただきます。

問合せ先：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団交通環境対策部（担当：岡本、岩原） TEL：03-5844-6268 E-Mail：bus[at]ecomor.jp